



# M<sup>マ</sup>arche

2004.3.26 Vol 36

発行 (財)但馬地域地場産業振興センター

〒668-0041 兵庫県豊岡市大磯町 1-79 ☎0796-24-5551(代)

出石町

但馬の小京都 いずし

## 出石城と町家

### 出石城を中心に広がる町並み

出石は今関西の各地や周辺から季節を問わず観光客が訪れ、町は人波にあふれている。

出石は「出石そば」でも一躍有名になったが、これだけ沢山の観光客にとっての魅力は、いま尚残る江戸時代の城下町の風情ある町並みであろう。

今日の出石の城下町は、播州竜野から領主に封じられた小出氏が山麓に平山城を築き城下町づくりを行なったのが始りとされている。

但馬の小京都、出石を訪れる人々は、まず出石城から始る大手前通から碁盤の目のように広がった町並みを散策し、今に残る城下町の雰囲気に浸ることができる。



辰鼓楼と登城門



### 江戸時代の風情を残す町家のたたずまい

町家のある通りを散策すれば、それぞれの町名が当時の城下町の有様を物語ってくれる。鉄砲町、鋳物師町など町家は出石の町の歴史と文化を写す鏡になっており、商家やいずし蕎麦の店として現在も町家の風情を残している。



家老屋敷とお寺の白壁の道

出石を象徴するようになった辰鼓楼を望みつつ、「家老屋敷」から続く武家屋敷やお寺の白壁塀を見ながら、町中に入れば江戸時代の町家づくりの家屋に出会う。

酒蔵



経王寺。京街道の守護のため砦の役割もはたした



城下町の面影を残す町家



沢庵和尚ゆかりの宗鏡寺(すきょうじ)



## 出石町

透きとおる白さの白磁と  
磨き抜かれた技が生み出す繊細な彫刻



# 出石焼き



### 国の伝統的工芸品にも指定された

出石の特産物の1つである出石焼は昭和55年国の伝統的工芸品に指定された。

透き通るような白が特徴で、柿谷陶石と呼ばれる純白の原料を使いその白さは他に例を見ないほど。

また、陶工の磨かれた技が生み出す繊細な彫刻は出石焼きの特徴といえる。



素焼きの段階



出石焼を焼く窯

### 手作り、精巧な白磁

出石焼は、おおまかには①陶土を砕いて粘土をつくる工程から、②形をつくる整形、③素地仕上げから、④乾いたものにすかし彫りと呼ばれる特殊な彫刻など、出石焼の特徴である細かい彫刻をほどこす素地加飾工程を経て、⑤素焼き、⑥下絵付工程、⑦施釉（うわぐすりをかける）を行い⑧本焼成工程といった8つの工程を経て出来あがる。

（場合によっては、⑨上絵付け、⑩上絵付焼成工程を行うものもある。）

こうした工程の中にもいろいろな手順があり、ひとつの出石焼の完成に、平均で10日～20日かかる。

出石焼のほとんどが手作りで、焼物の表面に施す細かい彫刻は相当な熟練を要する。また、窯の温度調節に失敗すると全てが駄目になるため、細心の注意をはらわなくてはならない。

### 歴史を刻んできた技術と伝統

出石焼きの由来は、垂仁天皇時代に天日槍命が陶士を従えて但馬出石に到来し日常の食器類を焼いたことに始ったとされている。出石焼の名声が高まったのは江戸時代の明和元年(1764年)に泉屋治郎兵衛と伊豆屋弥左衛門が土焼窯を築いたのがきっかけとなり、寛政元年(1789年)に二八屋珍左衛門が出石町谷山で白色原石を発見したことが現在の出石焼きの基礎となった。珍佐衛門は藩主の命を受け肥前有田に赴き磁器の製造法を習い、有田の陶工を連れて帰った。その後幾多の窯の変遷を経て、出石藩の経営で磁器生産が続けられたが、文政年間にはいり藩は経営を民間に払い下げ、窯業を奨励し、出石周辺の村にも窯が作られ明治30年ごろまで栄えた。明治6年には出石焼に携わる人々が「盈進社(えいしんしゃ)」を設立、出石焼の白磁の技術を更に向上させた。この間パリの万国博にも出品されている。

現在のような白磁がみられるようになったのは、寛政年間に現出石町柿谷や鶏塚で白磁の材料となる鉾石が見つかったからで、天保期から幕末までの民間諸窯では、呉須染付けの日用雑貨が主であった。

明治に入ってから、盈進社が設立されてしだいに白磁が出石焼の中心となった。その後、原石不足が起こる中で低品質の原石を高質原料化する施設や廉価な白土の活用法が発見されるなどの原料確保の努力がなされている。

### 現在の窯元と発売所

☆永澤兄弟製陶所	出石町内町 92-1 TEL 0796-52-2155
☆山本製陶所	出石町本町 106 TEL 0796-52-2437
上田製陶所	出石町田結庄 2 TEL 0796-52-2002
森垣製陶所	出石町小人 TEL 0796-52-3634
川北製陶所	出石町柳 21 TEL 0796-52-2034
☆虹洋陶苑	出石町八木 57 TEL 0796-52-5945

☆印は「出石焼の絵付け」体験のできる店

## 出石町

出石の町に、もうひとつの名物を

# 匠の会のネットワークが誕生 びっ蔵～グリーンいずし出石店の9店舗

### 出石の伝統文化を活かして

「古事記」や「日本書紀」などに名前が出てくる歴史の町、出石にはさまざまな文化が生きつき今に継承されている。

江戸時代に信州上田から国替えになった仙石氏によって伝承された「皿そば」もそのひとつ。いまは出石の名物になっている。このほかに「沢庵漬け」をはじめ出石の歴史から生み出された伝統的なものがある。

こうした物を作り販売してきた人達の店が「匠の会」という店舗のネットワークをつくり、観光客に少しでも多く出石をアピールしようとしている。

### 出石の町にもっと長時間滞在してもらう

現在、観光客はたくさん来ているが、ほとんどの人が「辰鼓楼」大手通付近に集中して、出石の町並をゆっくり見てもらうといった長時間滞在型になっていない。できれば宿泊もして出石の歴史の町並みや辺りの史跡などをもっと味わってほしい、こんな願いを込めて町づくりのひとつとして「匠の会」を発足した。

### 商店街の活性化と空き店舗対策事業として

町内外の大型店、郊外型のスーパーの進出、さらには店主の高齢化と後継者不足で、出石の中心市街地でも空き店舗が目立つ。

出石町では基幹産業である農業と観光産業を連携融合させ、かつ各々の産業としても独自に活動することにより、より大きな視点での「まちづくり」ができるといった考えで、「やる気商店街・小売市場活性化支援事業」をすすめ、その事業主体(株)出石まちづくり公社は、まず「びっ蔵」を発足させた。



びっ蔵



## グリーンいずし出石店が出店

### 出石の農産物と農家の手作りの食事を！

商店街活性化にともなう空き店舗対策に、意欲的に参加し、いち早くオープンしたのが、「グリーンいずし出石店」。店主の狩野さんは、同町伊豆で37%の土地にアイガモ米など5種類の米や野菜、豆類などを有機栽培している。2年前には豊岡の公設市場に「消費者の反応をじかに感じたい」と「グリーンいずし豊岡店」を開いた。今回、出石の商店街の活性化と「出石の新名所になれば」と(株)出石まちづくり公社の空き店舗募集に応募、「グリーンいずし出石店」をオープンした。



グリーンいずしは、兵庫県知事の「エコファーマー」の認定を受け、「ひょうご安心ブランド農産物」で米の認定をうけた。

店頭に並ぶブランドの1つだんじやあ米



店の中にはお食事処があってそこでは、店頭で販売している商品が味わえる。

### 赤飯セット (右)

ほかに京漬物セット、黒豆おこわセット、ぜんざい、餅などもたのしめる。



## 氷の山・後山・那岐山国定公園

てんたき

たわらいし

すぎがさわこうげん

## 天滝～俵石～杉ヶ沢高原ハイキングコース

国道9号線から大屋町に入り、大屋市場から県道大屋～波賀線へ向う途中に天滝の駐車場がある。

## 森林浴全国100選コースに選ばれた

天滝の駐車場から天滝へむかい天滝から俵石（たわらいし）、さらに杉ヶ沢高原に入る。このハイキングコースは片道約3.3キロのコースで森林浴全国100選に選ばれている。

天滝～俵石～杉ヶ沢高原のハイキングコースの周辺は、「氷ノ山・後山・那岐山国定公園」となっていて貴重な自然の宝庫として保護管理されている。駐車場から天滝に至るまでの道にも、しのびの滝、岩間の滝、久遠の滝、糸滝、夫婦滝、鼓ヶ滝など大小の滝があってハイキング客にとっては登りの道を楽しませてくれる。天滝の雄大な滝の流れを眺めた後俵石へ。俵石を見て林業作業道を登ると杉ヶ沢高原にはいる。途中には2ヶ所の休憩所がある。帰りは、杉ヶ沢高原を散策してそのまま天滝に向かう。

駐車場横には食事処「レストハウス天滝」や天滝公園キャンプ場もある。

## 俵石（たわらいし）

石が俵を積み重ねたように見える。玄武岩からでき、柱状節理ともいう。

## 杉ヶ沢高原（すぎがさわこうげん）

標高720～850メートル、中央に湿地があり湿地植物も生育している。縄文時代に人がいたことが確認されている。休憩所も2ヶ所ある。

県下一を誇る名瀑

## 天滝



天滝の駐車場から、溪流沿いに1.2km登ると、目の前に滝の白い水の柱が現れる。落差98メートルのこの滝は、その荘厳さと力強い姿と滝にまつわる伝説から「日本の滝100選」に選ばれている。

## ミズバショウ公園

1975年、大屋町の加保坂峠の湿地に白いミズバショウの自生が確認された。

4月中頃に白いミズバショウが顔を出す



それまでミズバショウの自生地の南限は岐阜県の蛭ヶ野高原とされていた。

花粉分析の結果約11,000年前頃よりここに自生する氷河期の遺存種で分布学術上でも貴重な地域となった。

## ふるさとの樹 樽見の大桜

●所在地 大屋町樽見ケジメ85番地

国指定天然記念物樽見の大桜は4月に白い花を咲かせ1,000人近い人が訪れる。推定樹齢1,000年のこの大桜は、古くから地元のシンボルとして人々の生活とも深いかかわりをもってきた。枝の枯れが目立ち始めてから地元では「大桜を守る会」「大桜保存会」などその保存に力をいれている。



桜の種類

エドヒガン

目通り範囲

幹回り 約5.2m

根回り 約8m

樹高 約20m

## 大屋町

高原のリゾート地

# 若杉高原

大屋市場から県道大屋波賀線をすすむと若杉地区に入り、若杉高原に登っていくあたりに「不動滝公園」がある。

さらに登っていくとスキー場の入口があり、ゲレンデの下には、若杉高原温泉やロッジなどの施設がみえる。



## 若杉高原温泉 (スパハウス)

若杉高原温泉は天滝ハイキングをはじめ大屋町を訪れる客に四季を通じて利用されている。

お湯に浸かって四季の風景や星空が楽しめ、ゲレンデが一望できる休憩室はテレビ、マッサージ器も完備している。



スキー場のゲレンデの真下にある温泉施設で、広々とした脱衣場と洗い場が好評。

平日

11:00 ~ 18:00

土・日祝日

11:00 ~ 20:00



## 若杉不動滝

大屋波賀線から若杉高原に至る途中で不動滝公園に入る。

溪流に沿って歩くと、その奥に不動滝が現れる。

この滝も大屋町の名所のひとつ。



## ウォータージャンプ

ブラシの敷き詰められた斜面をスキーやスノーボードで滑り降り、ジャンプ台から水深3メートルのプールに飛びこむスポーツ。雪上ジャンプと違い安全なため、自由なスタイルで思いきり飛ぶことができる。



スキーなどの道具はレンタルしている。

初めての人には安全講習が行われる。

営業

6月1日~10月末

\*詳しくは

079 - 669 - 1576

## トレーラーハウス

若杉高原キャンプ場に宿泊の出来るトレーラーハウス。食事を作る設備も完備されている。



トレーラーの内部

平成15年度

# グッドデザインひょうご選定商品決定

兵庫県では平成5年度から、県内企業のデザイン開発の促進、県民生活の質的充実と県内企業製品のイメージアップを図ることを目的に「グッドデザインひょうご選定商品」を選定、推奨しています。

第11回目となる今回は、58点の応募があり、産業・ビジネス、日常生活、スポーツ・レジャー、ニュージャンルの各部門から計22点を選定いたしました。全部門を通じて最も優秀な商品に贈られる大賞は、日常生活部門の「草木染長角模様編皮手提かご」〈製造：兵庫県杞柳製品協同組合（豊岡市）〉に決定いたしました。各部門賞は次のとおりです。

- ①産業・ビジネス部門賞…「スーパーS 40 窯変／プロヴァンスカラー」製造：近畿セラミックス株式会社(津名町)
- ②日常生活部門賞…「ウォーキングシューズ(ワラジ オンデューティシリーズ WAH 558・WAF 276・WAF 278)」製造：株式会社アシックス(神戸市)
- ③スポーツ・レジャー部門賞…「光川順太郎作 細工鋸 五本組」製造：有限会社カネジュン(三木市)
- ④ニュージャンル部門賞／(財)神戸ファッション協会会長賞…「介護用亀シート」製造：仕立屋Miki(宝塚市)



## 大賞【日常生活部門】

草木染長角模様編皮手提かご  
製造：兵庫県杞柳製品協同組合  
(豊岡市)

## 日常生活部門選定商品

豊岡グラフィティ／ニューブライトケースTG-08  
製造：兵庫県鞆工業組合（豊岡市）



## 日常生活部門選定商品

ショアイエ 楽々誘眠 くびまもーる  
製造：ショアイエ（出石町）

# 平成 15 年度グッドデザインひょうご選定商品

部門等	企業名	所在地	商品名	各賞
産業・ ビジネス部門	近畿セラミックス株式会社	津名町	スーパーS 40 窯変／プロヴァンスカラー	部門賞
	(株)ディープラン ヨネザワ	三木市	両引き D ボルトⅣ	
日常生活部門	兵庫県杞柳製品協同組合	豊岡市	草木染長角模様編皮手提かご	大賞
	株式会社アシックス	神戸市	ウォーキングシューズ (ワラジ オンデュティシリーズWAH558・WAF276・WAF278)	部門賞
	キンボシ(株)	小野市	ガーでんねっとシリーズ	
	三洋電機(株) モバイルエナジーカンパニー	守口市	電気かみそり S V-DX4(S)／DX32(S)	
	三洋電機(株) モバイルエナジーカンパニー	守口市	超急速1時間充電器 NC-M 60、 急速充電器 NC-M 55 S	
	ショアイエ	出石町	ショアイエ 楽々誘眠 くびまもーる	
	兵庫県鞆工業組合	豊岡市	豊岡グラフィティ／ニューブライトケースTG-08	
	便利屋おの木工房	小野市	「心映え」(ヒゴとそろばん杵グッズ)	
	ミカタ精工	三木市	Tape-de-Goo (テープ・デ・グー)	
	(株)イトー	三木市	播州三木一刀流作 切り出しナイフ (ウッド肥後ナイフKW-3, ウッド片刃 KW-1, ウッド両刃 KW-2、	
	(株)かね徳	芦屋市	うにスティック 御所姫 (ごしょひめ)	
	三洋電機(株)技術開発本部	守口市	空気清浄機 ABC-HP 14	
	(株)ダイイチ	小野市	いきいきそろばん玉 1・2・3 遊び (旗付)	
	(株)ノーリツ	神戸市	液晶浴室テレビ YTV-1000 S (ペットネームDECAZO)	
	(株)ポコ・ア・ポコ	神戸市	Tanto Tanto (たんと たんと)	
	(株)ユーエム工業	小野市	シルキー・ビッグボーイ (Silky Big Boy)	
レジャー・ スポーツ部門	有限会社カネジュン	三木市	光川順太郎作 細工鋸 五本組	部門賞
	(株)岡田金属工業所	三木市	ライフソー クラフト 145	
ニュー ジャンル部門	仕立屋M i k i	宝塚市	介護用亀シーツ	部門賞
	(株)エフエルエス	神戸市	ウォッシュデニム コードポケットパンツ	

# 開館 15 周年 (財)但馬地域地場産業振興センター

当センターは、但馬地域における地場産業振興のための事業を行うことにより、地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、もって地域経済の活性化と地域住民の生活向上に寄与することを目的として昭和62年12月に設立されました。

平成元年4月16日には施設をオープンし、本年度で開館15周年という節目の年を迎えることができました。

その間、観光物産展示即売場では、但馬地域の地場産業製品及び特産品を展示即売することにより需要拡大に努め、また、センター施設の効率的な活用を通じて地域使用者及び来場者との交流を深める場の提供を行いました。さらに、地場産業の振興を図るための各種事業を積極的に実施して参りました。産地の活性化と地域住民との交流を図るため「但馬じばさんまつり」を開催。パンフレット等による産地PR。講演会・セミナーの開催を通じての人材育成。機関紙「マルシェ」、デザイン情報誌「タンジェント」発行による情報収集提供事業などです。

地場産業を取り巻く環境は激しく変化していますが、過去15年を振り返るとともに、来年度以降も試行錯誤しながら、地場産業の振興、地域経済の活性化へ向けて鋭意努力し取り組んでいく方針です。

## 15年を振り返って

但馬地域地場産業振興センター竣工式



竣工式くす玉割り



第1回但馬じばさんまつり(平成元年)



機関紙「マルシェ」創刊(平成3年8月10日)

デザイン情報誌「タンジェント」創刊(平成4年3月1日)



全国じばさんまつり '98 in 但馬(開館10周年)